

令和6年度 戸畑区リハビリテーション連絡協議会 活動報告書

項 目	内 容	備考
組織構成	会 長：都甲 哲生 OT（所属：戸畑けんわ病院） 副会長：久保 貴照 PT（所属：戸畑共立病院） 副会長：梅田 洋輝 PT（所属：戸畑総合病院） 運営委員：15名（役員含む全体数） ※別紙名簿添付	在会員施設数：8施設
活動方針（テーマ）	「連携の再構築に取り組もう！」	
年度目標	○リハ職間・多職種間での顔の見える関係、 ネットワークづくり ○高齢者や障害のある人の地域生活を支える連携の強化 ○リハ協の活性化	
活動実績	①運営会議（2回） ②運営会議以外の会議（例：部会会議など）（8回）	②の会議名： 三役会議（2回） チーム会議（6回）
	④研修会（2回） 職種：リハ職 内容：在宅生活を支えるリハ連携～リハ計画書を作成する・活用するポイントとは～ 場所：戸畑区役所 大会議室	開催日時：R6.8.23 開催方法：集合形式 参加者数：33名
	④研修会（2回） 職種：リハ職 内容：住宅改修等の環境調整に必要な視点とは？～介護保険制度の基礎を学ぼう～ 場所：戸畑区役所 大会議室	開催日時：R7.2.21 開催方法：集合形式 参加者数：36名
	⑤交流会（1回） 職種：リハ職 内容：名刺交換会 場所：戸畑区役所 大会議室	開催日時：R6.10.25 開催方法：集合形式 参加者数：26名
合同勉強会への参加	参加者数（11人）	
活動成果	活動方針に沿って、リハ職を対象に勉強会（2回）と交流会（1回）を開催し、顔の見える関係性づくり、ネットワークづくりに取り組んだ。また、勉強会や交流会を通し、新しい運営委員の参加希望があり、リハ協の活性化にも繋がった。	
次年度の課題	次年度は「連携の再構築に取り組もう！」という活動方針に加え、「現場の意見を取り入れていく」ことも加えた。そのため、『調査チーム』を新設し、戸畑区のリハ職の現状や関心を調査していく。	

戸畑区リハビリテーション協議会
運営委員名簿
(令和6年度)

※R6年4月1日時点

		氏名	所属	職種
1	会 長	都甲 哲生	戸畑けんわ病院 慢性期リハビリテーション科	作業療法士
2	副会長	久保 貴照	戸畑共立病院 リハビリテーション科	理学療法士
3	副会長	梅田 洋輝	戸畑総合病院 リハビリテーション科	理学療法士
4	運営委員	徳田 光広	戸畑けんわ病院 回復期通所リハビリテーション科	作業療法士
5	運営委員	志田 啓太郎	戸畑リハビリテーション病院 在宅支援科	理学療法士
6	運営委員	江河 祐美	戸畑リハビリテーション病院 在宅支援科	作業療法士
7	運営委員	田原 毅	戸畑リハビリテーション病院 在宅支援科	理学療法士
8	運営委員	都甲 幹太	介護老人保健施設あやめの里	作業療法士
9	運営委員	伊藤 圭一	介護老人保健施設あやめの里	理学療法士
10	運営委員	熊谷 雄輝	あやめ訪問看護ステーション	理学療法士
11	運営委員	柳井 耕太	戸畑総合病院 リハビリテーション科	理学療法士
12	運営委員	中山 直紀	戸畑総合病院 リハビリテーション科	理学療法士
13	運営委員	宮部 篤志	戸畑総合病院 リハビリテーション科	理学療法士
14	運営委員	鬼塚 大悟	特別養護老人ホーム戸畑大谷園	作業療法士
15	運営委員	藤本 隆	(株) ホットウィル ライフラボ戸畑	作業療法士
16	事務局	野村 隆幸	戸畑区役所保健福祉課	係長
17	事務局	片山 充	戸畑区役所保健福祉課	理学療法士
18	(事務局)	佐藤 美香	保健福祉局地域リハビリテーション推進課	係長
19	(事務局)	金澤 紀子	保健福祉局地域リハビリテーション推進課	理学療法士
20	(事務局)	宮下 佑一	保健福祉局地域リハビリテーション推進課	言語聴覚士

令和6年度 戸畑区リハ協勉強会 報告書

開催日時:令和 6 年 8 月 23 日(金)18:30~20:00

開催場所:戸畑区役所 大会議室

参加者数:33 名(PT16 名、OT10 名、ST2 名、行政職 5 名)

1. 話題提供:「在宅生活を支えるリハ連携」戸畑けんわ病院 都甲 哲生氏(作業療法士)

今年の医療介護報酬改定により、リハ計画書を入手・活用することが義務化されたことから、医療・介護のリハ専門職が計画書を効果的に活用できるよう加算の概要や仕組みを報告した。



写真① 都甲氏話題提供

2. 事例提供:医療と介護でリハの目標や見立てを共有した事例

介護老人保健施設あやめの里 伊藤 圭一氏(理学療法士)

戸畑リハビリテーション病院 江河 祐美氏(作業療法士)

※オンライン参加

江河さんから戸畑リハビリテーション病院での送り手側の計画書の運用や情報提供体制、特に注目してほしい記載内容について報告し、伊藤さんから事例を通して受け手側の在宅生活における計画書の活用方法や目標設定について報告した。



写真② 伊藤氏事例提供

3. グループワーク:事例をもとに計画書に落とし込むポイントを学ぶ

【司会・まとめ】東部支援センター 志田啓太郎氏(理学療法士)

2 部制で 1 グループ 5~6 名で 5 グループ設置した。各グループに運営委員をファシリテーターとして配置し、グループワーク中の進行を行う。

1 部 医療系のグループと介護系のグループに分けて困りごとや課題に対しての自身の事業所の工夫点を話し合う。

(1) 計画書作成(活用)の現状

(2) 参加者から困りごとや工夫点

2 部 医療・介護分野を混ぜて配置し、1 部でどんな意見やどんな気づきがあったか報告する。

(1) 自身が計画書(添書)を受け取る際にどんな情報があると助かるか

(2) 事例報告を聞いてよかったと思うこと



写真③ グループワークの様子1



写真④ グループワークの様子2



写真⑤ 司会 志田氏まとめ

発表で出た意見

- 医療・介護に関わらずどこの部署でも情報収集は必要。
- 計画書の作成はこれまでの作業にプラスされており、作業が大変。負担が大きい。
- 計画書は受け手をイメージして作成しないといけない。たまにずれているなど感じることもある。
- 何がゴールでいつまで続けるか分かる計画書が助かる。

令和6年度 戸畑区リハ協勉強会 報告書

開催日時:令和7年2月21日(金)18:30~20:00

開催場所:戸畑区役所 大会議室

参加者数:36名(PT21名、OT13名、ST1名、その他1 (事務局以外の行政リハ職3名含む))

【スケジュール、内容】

時間	内容	役割
18:30~	開会	司会:熊谷 PT(あやめ訪看)
18:32~18:45 (約15分)	【ミニ講座】 「みんなで支え合う介護保険」	地域リハ課(金澤 PT)
18:45~19:25 (40分)	【講演】 「住環境整備のポイント ～リハ職に必要な視点とは～」	(株)神崎工務店 天米 穂 PT
19:25~19:50 (25分)	【グループワーク】 事例に関する意見交換	グループ進行: 企画チーム、一部運営委員
19:50~19:55 (5分)	【まとめ】 ・講師から事例報告 ・質疑応答	司会:熊谷 PT 報告:天米 穂 PT
19:55~20:00	閉会	あいさつ:梅田 PT

講演では住環境整備の事例を複数紹介いただき、外構のスロープや手すりの形や設置場所等について講演いただいた。また、グループワークでは事例をもとに①事例の生活課題は何か、②生活課題の解決に必要な改修は何か(場所・内容など)などを意見交換した。



写真1 講演



写真2、3 グループワークの様子

令和6年度 戸畑区リハ協交流会 報告書

開催日時:令和 6 年 10 月 25 日(金)18:30~19:30

開催場所:戸畑区役所 1階多目的会議室

参加者数:26名(PT12名、OT9名、ST1名、行政職 4 名)

1. 戸畑区リハビリテーション連絡協議会の活動紹介

○活動報告について

運営委員の都甲氏(あやめの里)がリハ協の活動について報告を実施。

○役員改選

新三役の紹介。本日より三役は梅田会長(戸畑総合病院)、都甲副会長(戸畑けんわ病院)、久保副会長(戸畑共立病院)の体制で運営を行う。…承認



写真1 活動報告



写真2 役員改選

2. 難聴のミニ講座

北九州市が啓発に取り組んでいる「加齢性難聴」について、チラシを配布し、難聴に関する正しい知識の普及やセルフチェックなどを紹介し、難聴の早期発見が重要であることを地域リハ課の宮下から報告を行った。

3. 名刺交換会

藤本氏(ライフラボ戸畑)が目的を説明した後、4~6人の4グループ(医療2グループ、介護2グループ)で、名刺を交換しながら15分間、情報交換を行った。次に各施設の参加者を紹介した後、フリータイムを15分間設けて、各自で交流を行った。



写真3 オリエンテーション



写真4 名刺交換会(グループ)



写真5 名刺交換会(フリー)

戸畑区リハビリテーション連絡協議会会則

(名 称)

第1条 この会の名称は、「戸畑区リハビリテーション連絡協議会」(以下、「リハ協議会」という)とする。

(目 的)

第2条 リハビリテーション専門職及びリハビリテーションに関心のある保健・医療・福祉関係者が連携体制を確立し、リハビリテーションに関する情報交換や地域貢献を図り、もって地域リハビリテーションの円滑な推進に寄与することを目的とする。

(業 務)

第3条 リハ協議会は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 地域リハビリテーションに関する情報の収集及び提供
- (2) 高齢者や障害者（児）等に対するリハビリテーションの調査及び研究
- (3) 地域支援事業（介護予防教室等）への支援
- (4) 市民センター等での講演活動
- (5) その他目的を達成するために必要な取り組み

(組 織)

第4条 リハ協議会は、次の各号に掲げるもの（以下「会員」という）で構成する。

- (1) 戸畑区内に居住するもしくは戸畑区内で保健、医療、福祉業務に従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
- (2) 戸畑区内で保健、医療、福祉業務に従事するもの

(役 員)

第5条 リハ協議会に会長1名、副会長2名を置く。

- 2 会長及び副会長は、会員の互選により定める。
- 3 会長は、リハ協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(企画運営委員会)

第6条 第3条に掲げる業務を円滑に運営するために企画運営委員を置く。

- 2 企画運営委員は30名以内とし、会員の中から選出する。
- 3 会長は、企画運営委員会を必要に応じて開催する。
- 4 企画運営委員会では、必要に応じて部会を設置する。

(役員の任期)

第7条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、役員が欠けた場合における補欠役員の任期は、前任者の残存期間とする。

(会 議)

第8条 リハ協議会は、次の会を開催する。

(1) 総会（役員改正時）

(2) 定例会

2 リハ協議会の議事は、出席した会員の過半数で決し、可否同数の場合は、会長が決する。

(事務局)

第9条 リハ協議会の事務局は、戸畑区役所保健福祉課高齢者・障害者相談係内に置き、事務を処理する。

(守秘義務)

第10条 リハ協議会の会員は、職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。

(委 任)

第11条 この会則に定めるもののほか、リハ協議会の運営について必要な事項は、別に会長が定める。

(その他)

第12条 リハ協議会は、戸畑区医師会、福岡県理学療法士会、福岡県作業療法士協会、福岡県言語聴覚士会、戸畑区地域福祉推進協議会等との連携に取り組むものとする。

(付 則)

1 この会則は、平成19年6月1日から施行する。

(付 則)

1 この会則は、平成21年6月1日から施行する。

(付 則)

1 この会則は、平成23年4月1日から施行する。

(付 則)

1 この会則は、平成25年6月1日から施行する。